

学 年	高校 3 年	必修・選択の別	選択
教科名	総合的な探求	単 位 数	2 単位
科目名	Sustainable Society Design	担 当 者	帖佐 香織・坂下 淳一
講 座	1 講座		

**科目のねらい (目標)**

2年間で養われた SDGs やまちづくりに関する基礎知識と問題解決への論理的思考、リサーチスキルを生かし、2年生でのリサーチの内容をまとめたリサーチブックを完成させ、また、自身の探求したいテーマに沿った卒業論文を作成する。さらに京田辺市などの自治体や地元企業との協働、提言などを実践する。連携校とのオンラインでの国際会議を企画・運営・実施する。

**学習の進め方**

担当者のガイドのもと、以下の作業を計画的に進めていく。

- 1 グループでのリサーチやそれをまとめる作業をおこない、リサーチブックを完成させる。
- 2 卒業論文は個人での作業となる。またそのための準備として、まちづくりに関する専門書の精読をおこなう。
- 3 協働や提言、国際会議については、グループワークで進める。

**生徒の学習上の留意点**

GUS-Basic、SSR で学んだ知識やスキル、豊かな想像力を縦横に活用して、積極的に参加してくれることを期待します。様々なプロジェクトを同時並行で進めるので、計画性や、グループで効率的にプロジェクトをすすめられるような役割分担、責任感なども必要です。

**評価方法**

授業への積極的な参加、グループワークへの貢献度、提出物、場合によっては試験も実施し、総合的に評価する。

**使用教材**

適宜授業時に提示する。

**授業計画**

学期	授業内容	各単元のねらい
1	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 リサーチブックの内容改訂を行う。(ドイツ・京田辺)</li> <li>2 卒業論文作成の方法を学ぶ。</li> <li>3 京田辺市の課題把握と市への提言や地元企業とのコラボレーションによる課題解決案を考える。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 リサーチブックをグループで作成することでグループワークやリサーチ、レポートを書くスキルを習得する。</li> <li>2 教員が指示した課題図書から選択したものについて、レポートを作成し、4000字程度のレポートの書き方の基礎とまちづくりに関する基本的知識を習得する。</li> <li>3 課題を把握した上で、解決案を論理的・批判的に考えることができるようになる。</li> </ol>
2	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 リサーチブックの内容改訂・完成(継続)。</li> <li>2 卒業論文のテーマ選定、リサーチを開始する。</li> <li>3 <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に向けて、市への提言や地元企業との協働を実践する。</li> <li>・連携校とのオンライン国際会議の企画・運営を行う。</li> <li>・SGH/WWL フォーラムでの発表準備を行う。</li> </ul> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 リサーチブックの再出版に向けてグループでの最終調整や個人作業を行う。</li> <li>2 1学期の授業を基礎とし、卒業論文の作成にとりかかる。各自のテーマをプレゼンテーションし、相互アドバイスも実施することで、質の高い論文の完成を目指す。</li> <li>3 国際会議やフォーラムの準備を行うことで、発表や会議運営の方法について学ぶ。協働や提言を通じて、課題解決に向けて実践的な経験をする。</li> </ol>
3	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 リサーチブックを印刷・製本する</li> <li>2 卒業論文を完成させる。</li> <li>3 市への提言や企業との協働についてふりかえりを行う。連携校とのオンライン国際会議を実施する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>2 卒業論文について発表を行い、批評会を経て、論文集を作成する。</li> <li>3 3年間の成果を全校生徒に向けて発表する。PDCA サイクルを活用し、自身について力や今後身につける必要がある力、課題解決に必要な事項について理解する。</li> </ol>